

令和6年度 とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1100
施設名	世田谷いちい保育園南ウイング
施設所在地	世田谷区弦巻 5 丁目 10-22
法人名	社会福祉法人水の会

1. 活動のテーマ

自然 【泥遊び】

＜テーマの設定理由＞

水遊びや、砂遊びに興味を示して遊ぶ姿があったが、それぞれ別の活動として保育しており、子どもたちの遊びも限定的となっていた。砂場での遊びが水を取り入れることでより遊びが展開できるよう、水や砂の遊びの体験を充実させられるテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

- ① 4 月～5 月：水たまりや落ち葉、虫などの様々な自然物に興味をもつ
- ② 6 月～9 月：戸外での遊びが暑さで制限されるが水遊びや感触遊びを楽しむ
- ③ 10 月～11 月：園庭砂場で水を使用しての泥んこ遊びを実施
- ④ 12 月～3 月：落ち葉や木の実を使用しての砂遊び

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・砂場の玩具（バケツ、スコップ、お皿、カップなど）
- ・落ち葉や木の実
- ・足ふき
- ・捨て雑巾
- ・たらい
- ・着替えセット
- ・ゴザ
- ・テーブル

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

- ① 4 月～5 月 水たまりや落ち葉、虫などの様々な自然物に興味をもつ

4 月。雨上がりの園庭に大きな水たまりを発見！「(入っていいのかな...)」と遠慮気味に水たまりに近づき雨上がりの水たまりを楽しんでいる様子が見られました。



お水触りたいな...

ダンゴムシいるよ！



5月。園庭の自然物採取に夢中！園庭のどこになんの自然物があるか把握して、隅から隅まで駆け回る日々。

② 6月～9月：戸外での遊びが暑さで制限されるが水遊びや感触遊びを楽しむ

6月。蒸し暑い雨の日はテラスで水遊び。空きカップや容器、花紙を使ってジュースを作りました。「冷たいね」、「いちごジュースです」など感触を楽しんでいました。水遊びが始まったばかりのことはまだ遊び方が控え目な様子です。



ジュース屋さんです！

シャワー！



9月。水遊び期間の後半になると頭の前からつま先まで濡れていない所はないくらいダイナミックに水遊びを楽しむ姿が見られました。外に出られない分、寒天や小麦粉粘土、氷遊びなども楽しみました。

③ 10月～11月：園庭砂場で水を使用しての泥んこ遊びを実施

10月。ようやく涼しくなり戸外での活動が思う存分出来るように！水遊びと大好きな砂遊びを一緒にできるようにすると、最初は砂場に流れ込む水に大興奮していました。徐々におままごとをしたり、工事現場のように道を作ったりと、いつもの砂遊びよりも遊びが展開していく様子がみられました。落ち葉や、どんぐりも用意することで、おままごと材料の一つとなり、遊びが展開していく様子が見られました。



水に興味を持つ子が多くいましたが、回を重ねることに、おままごとの道具や、椅子やテーブルに興味を持ちそれらを使用して友達とごっこ遊びを展開していく様子がありました。

④ 12月～3月：落ち葉や木の実を使用しての砂遊び



2月。落ち葉や木の実がなくなった冬。気温が低い日が続き、水を使いたがる子が少なくなりましたが、砂遊びは相変わらず大人気。1年を通して使用したため、砂が少なくなり、補充することで「ふかふか！」「さらさら！」と砂の感触を楽しむ姿や、砂が増えたことで遊びの幅が広がり友達と交流しながら遊ぶ姿が見られました。

5. 振り返り

子どもたちの身近な自然でもある、「水」、「砂」は今までも活動に取り入れることは多く、子どもたちも大好きな活動の一つではありましたが、身近であるからこそ環境が大切になりますが、これまで環境構成も大きく変えることがありませんでした。今回の活動を通して、改めて子どもたちの興味関心に目を向けて、どのような時期に、どのような活動や、材料、玩具を用意したらいいのか。どのような声掛けや、見守りが必要なのかなど、職員間で話合いが出来たことも大きく、2歳児クラスでの活動とはなりましたが、他クラスでも見直すきっかけとなりました。今後も、今回の活動だけで終わるのではなく、子どもたちの興味関心に寄り添った保育を行い、興味関心が継続、展開していく保育を行っていきたいと思います。